

福井県産【大麦・小麦】の 収量アップを目指して!!

情報

JA福井県

No.1

● 排水対策は麦作のかねめ!! (圃場準備が重要)

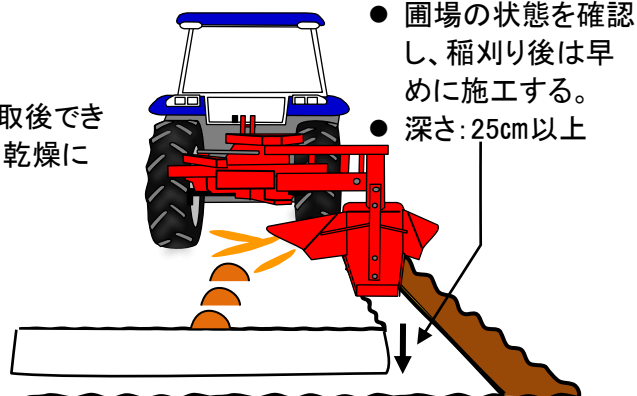
排水不良は、苗立ち・生育初期から中期・登熟期・さらには跡作の大豆やソバにも影響を及ぼします。また、麦は酸性土壌に弱い作物であるため、石灰質資材などの土壌改良資材を施用し、麦の生育に好適な土壌に

1. 排水対策のポイント

① 額縁排水

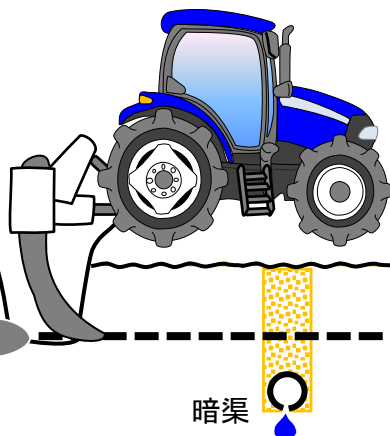
- 額縁排水溝は、水稻刈取後できるだけ早く行い、圃場の乾燥に努めましょう。

- 額縁排水溝の施工後は、排水口に接続する。



② 補助暗渠(サブソイラ施工)

- 額縁排水溝を掘った後、排水溝底から引くように施工する。



サブソイラ補助暗渠は額縁排水溝設置後すぐに行い、額縁排水溝と連結し本暗渠と直交するように施工しましょう。

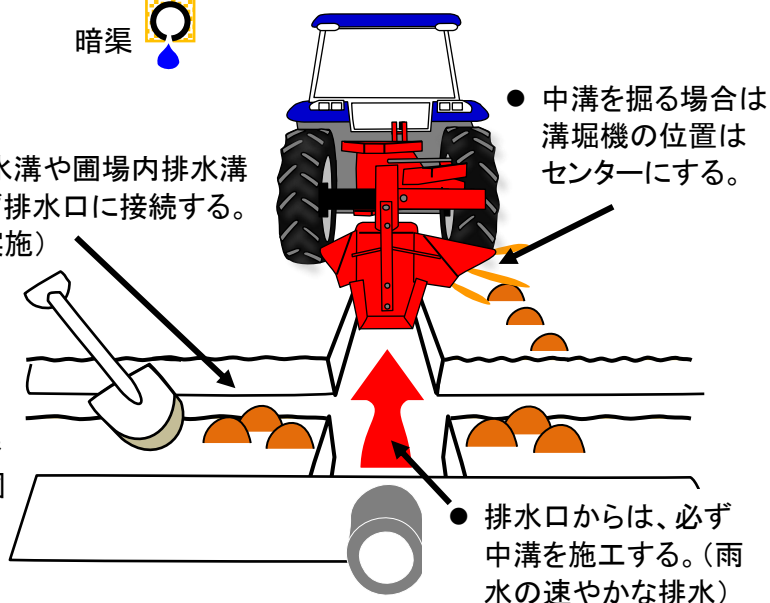
- 施工間隔：通常2～4m。排水が悪い圃場は、1.5～2mと狭くする。
- 施工深さ：25～30cm

③ 明渠(中溝の施工)

- 額縁排水溝や圃場内排水溝は、必ず排水口に接続する。(手直し実施)

圃場内排水溝の施工

- 深さ：25～30cm。
- 中溝間隔：5～30m。圃場条件、麦の播種作業に応じて設定する。(排水が悪い圃場は、播種1往復の間隔で中溝を施工)



2. 土壌改良資材の散布

大麦の好適な土壌pHは、6.0～6.5です。また、麦類はリン酸欠乏症が出やすいため、上記の土壌pHを目標に石灰質資材等を施用し安定収量・品質を目指しましょう。

- 麦豆一番：60～80kg/10a
- ケイカル：200kg/10a+ようりん：40kg/10a
- マグエース：100kg/10a